



令和7年9月8日

生駒市
担当者各位 様

学校法人佐保会学園
理事長 倉田 清
奈良佐保短期大学生駒幼稚園
園長 松村 利江子

園児定員数変更についてのお願い

生駒市様には日頃より、幼稚園教育にご尽力いただき、心より感謝しております。

自園も令和3年度より施設型給付対象園にさせていただけたことで、安定した質の高い幼児教育をめざすことができしております。

しかし乍ら、世の少子化と保育園・こども園の利用希望者が増加していることにより、年度毎に急激な園児数減少に繋がっていくと予想されます。これからの、幼稚園の在り方を考えるにあたり、魅力ある園作り、存続をかけた取り組みを行ってはおりますが、何卒現状の入園者数にあわせた定員数に変更したく、お願い致します。

現定員数 220名

令和8年度より希望する定員数 160名

なお、入園希望者の減少をくい止めるために行ってきた、自園の取り組みも下記に報告いたします。その上での人数変更希望であることをご理解いただければ有難いです。

記

- ① 職員教育、研修による職員の資質向上、保育内容充実
奈良県私立幼稚園連合会による研修を中心に、奈良県主催の研修会や生駒市幼保こども園課・幼稚園様の講習会や公開保育にも参加させていただき、保育技量の向上に努力しています。
- ② 教育目標をもとに一人一人を大切に、集団教育としての質を落とすことがないように経営の努力を続けています。

- ③ 鹿ノ台・美鹿の台・鹿畑地区の地域のみなさんとの交流
民生児童委員や自治会の方に保育参加していただくようになりました。いきいきホールのイベントや図書館での地域交流にも幼稚園として参加しています。
また、生駒市立鹿ノ台小学校の地域メンバーに加えていただくなど、自園はふるさと生駒の将来を担う子どもの生活・学びの場であると考えております。
- ④ 保護者ニーズに応ずる取り組み
ア、車での通園希望者に対応するため、駐車場を3か所設置しています。
イ、小さな弟妹を連れた方や体調の悪い保護者の方、雨の日の登降園に役立つなど「ドライブスルー」登降園制度(保護者は車に乗ったまま、園児と荷物を教職員が直接受け取ることができる)が軌道に乗ってきています。
ウ、広い地域をカバーするバスの運行を行っています。
エ、給食(週4日)
オ、預かり保育は朝7時30分～8時30分と幼稚園時間終了時～18時00分までとし、なるべく保育園・こども園に近い時間帯で実施しています。
- ⑤ 未就園児の会
年間15回程度、親子でのプレ保育を実施しています。
- ⑥ 満3歳児保育
令和5年度より満3歳児入園(3歳になった誕生日の次の月に入園)を始めています。
- ⑦ 園内で保育時間課外授業として
体操教室・英会話スクール・かきかた教室・プログラミング教室など、就学前のこどもの興味関心に、あわせて良い経験となるものを開催しています。
- ⑧ 支援児の受け入れ
明確な加配制度はありませんが、支援が必要な園児には集団生活に必要なフォローが十分にできるよう、安全面にも配慮をし、担任とは別に教員を配置しています。
- ⑨ 啓発活動
ア、地域便りの配布(不定期)
記事の中に園児募集を必ず入れるようにしています。
イ、園児募集の張り紙・ビラ配りなどの啓発活動
子どもが多いと言われている地域には、園児募集広告を直接ポストインしています。
ウ、園児募集シーズンには要綱を大きく張り付けてバスを走行しています。

⑩ フリーペーパーや商店への募集広告の掲示

以上のような努力にもかかわらず、園児数が減少しておりますことは、自園の力だけでは力が及ばず生駒市様に定員変更のお願いを申し出た次第です。

追記といたしまして、現在園児の居住市町村(奈良市 木津川市 精華町)の担当課様、及び給付金関係担当係様には、定員の変更を希望している件はすでに伝え、了承いただき、決定次第お知らせすることになっております。

今後、届出に必要な提出書類や期限等がありましたら教えていただくと有難く存じます。何卒、よろしくお願いいたします。